



社会福祉法人 素心の会  
 特別養護老人ホーム 素心苑

〒039-1513  
 三戸郡五戸町字古館向10番地1  
 TEL：0178-51-8188  
 ～第21号 令和4年8月発行～  
 発刊：広報・サークル委員会

## 暮らしを楽しむ

暦の上では、秋となっておりますが  
 まだまだ暑い日が続いています。  
 皆さま いかがお過ごしですか？

たくさん思い出をつくろうと、入居者と  
 支援員で計画を立てておりますが、  
 すべて計画で終わってしまう・・・  
 家の中で暮らしを楽しむことも、楽しみみの  
 一つだと気分を切り替え、みんなで頑張っ  
 ています。

今回の夏号の季刊誌は、今まで撮りためた  
 写真の中から、まだ、皆さんへご紹介でき  
 ていなかったものを蔵出しし、素心苑での  
 暮らしをご紹介していきたいと思えます。

現在、ユニットの中に来て頂くことは  
 なかなか叶いませんが、元気なお顔を  
 お届けしたいと思えます。  
 どうぞ、楽しんでください。

生活相談員 古館 博子



## コロナワクチン4回目



五戸総合病院後村医師  
と看護師さん



いつもありがとうございます



## 善の家 女子会



### 編集後記

なかなか大きなイベントを開催できませんが、ユニットの中では普通の暮らしの中から楽しさを見出そうとしています。入居者や支援員が今まで行ってきたことを素心苑でも継続して続けて頂くために、考えているようです。「昔取った杵柄」ではありませんが、やはり野菜作りは入居者の方が物知りで私たちも教えて頂くことがたくさんあり、いろいろな意味での収穫祭でした♪

広報・サークル委員会



# 各ユニットでの暮らしの様子



いちごは  
おがったかな？

今年は野菜  
の栽培を楽  
しみました

赤ちゃんスイカ



# ご家族さんご協力ありがとうございます



自宅に行ってきたよ



ケーキありがとう

会いに来てくれて  
ありがとう



# 各ユニットでの暮らしの様子



おやつ  
のケーキ

家族に会えない  
寂しさを吹き飛ばそう！



苑庭さんぽ



毎年恒例山菜の天ぷら



外出先のアイス



苑庭さんぽ



焼きおにぎり  
あ〜ん



オンラインレク



お手伝い



お手伝い

# 「人生会議」 ～自分の思いを伝える～

オレンジ委員会

～自分の思いをきちんと伝えられなくなった時を想像して～  
ご自身の考えを伝えられなくなった場合  
どのような治療を望みますか？

## ◆もしも口から食べることができなくなったら・・・

①自然にゆだねる はい いいえ

②点滴による水分補給  
(入院による) はい いいえ

③経鼻経管による栄養補給 したい したくない

※経鼻経管栄養とは、手術の心配はないですが、鼻から胃まで管をいれ、栄養や水分を補給します。見た目も良くないし、管が通っている不快感を感じる時があります。

④胃ろうによる栄養補給 したい したくない

※胃ろうとは、胃壁などに手術をして管を直接入れ、栄養や水分を補給します。首に穴をあけ管を通す場合もあります。



## ◆もしも呼吸が止まったら・・・

①器械による人工呼吸 したい したくない

※気管に管を入れて、器械で自動的に呼吸をさせる方法です。

人工呼吸器を装着することで、自力で呼吸が出来なくなっても生き続けることができます。呼吸できる力が回復するまでの一時的な使用や使用することで活動ができるのであれば、使用することは非常に大切なことです。

しかしいったん装着されるとこれにより命を支えたことになり、外す行為が難しくなります。



## ステップ2

# じぶんの想いを伝えましょう

『住み慣れた場所で穏やかな最期を迎えたい』と思っていたのに、本人が望まない医療処置が行われたり、自宅で最期を迎えたいと思っても病院で最期を迎える可能性がでてきます。



いろいろ考えてきた想いや内容をあなたの信頼できる人に伝えるだけでは十分ではありません

あなたが望んでいたことと、専門職の人たちが「あなたにとってこれが1番いい」という内容と食い違った時には、信頼された人が戸惑うこととなります。戸惑いを少なくするためにも信頼できる家族や友人だけでなく主治医や看護師、介護職にも想いを伝えておくことで、よりあなたの希望が尊重されます。

病状が悪化し、自分の考えが伝えられなくなった時、あなたがのぞんでいたことと、あなたの周りの人の考えが違う時はどうして欲しいですか？

私が望んでいた通りにして欲しい

私が望んでいたことを基本として、医療、介護従事者と信頼できる家族、友人で相談して決めて欲しい

私が望んでいたことと違って、医療、介護従事者と信頼できる家族や友人で相談して決めてよい

人生の最終段階における医療は、お互いが悔いが残らないように元気な時に考えて、話しておくことが大切です。

2か月にわたって人生会議についてお伝えしました。

今は元気でも誰にでも訪れる最期。

ご家族の皆さんと話し合ってみてはいかがですか？

オレンジ委員会より

次回  
お楽しみに

